

日 本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application:

2000年 5月17日

出 願 番 号
Application Number:

特願2000-144330

出 願 人
Applicant(s):

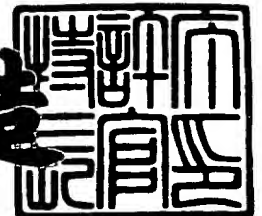
パイオニア株式会社
インクリメント・ピー株式会社



2001年 2月16日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3008915

【書類名】 特許願

【整理番号】 54P0661

【提出日】 平成12年 5月17日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04Q 7/38

【発明者】

【住所又は居所】 東京都目黒区下目黒1丁目7番1号PAXビル1階 インクリメント・ピー株式会社内

【氏名】 竹永 隆

【特許出願人】

【識別番号】 000005016

【氏名又は名称】 パイオニア株式会社

【特許出願人】

【識別番号】 595105515

【氏名又は名称】 インクリメント・ピー株式会社

【代理人】

【識別番号】 100063565

【弁理士】

【氏名又は名称】 小橋 信淳

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 011659

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 電子メールへの広告情報付加システムおよび方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 送信側端末機から送信されてきた電子メールを保存し受信側端末機からの受信要求に基づいて保存していた電子メールを受信側端末機に送信するメールサーバを含む電子メールサイトにおいて、

送信側端末機から送信されてきた電子メールに地域情報が含まれているか否かを検出する地域情報検出手段と、

電子メールに表示される地域情報の表示範囲を示す位置情報が蓄積された位置情報データベースと、

広告データとその広告提供者の位置データを含む広告情報が蓄積された広告情報データベースと、

前記地域情報検出手段によって電子メールに地域情報が含まれていることが検出された際にその地域情報の位置情報を前記位置情報データベースから検索するとともに、この検索された位置情報が示す地域情報の表示範囲内に位置する広告情報を前記広告情報データベースから蓄積されている広告情報の位置データに基づいて検索して、この検索された広告情報に含まれる広告データを電子メールに挿入する広告情報挿入手段と、

を備えていることを特徴とする電子メールへの広告情報付加システム。

【請求項 2】 前記地域情報が地図または交通機関、住所の表示である請求項 1 に記載の電子メールへの広告情報付加システム。

【請求項 3】 位置情報データベースに蓄積された位置情報が、地域情報の表示範囲を緯度と経度によって特定するものである請求項 1 に記載の電子メールへの広告情報付加システム。

【請求項 4】 前記広告情報データベースに蓄積された広告情報に含まれる広告データが、バナー広告データである請求項 1 に記載の電子メールへの広告情報付加システム。

【請求項 5】 前記広告情報データベースに蓄積された広告情報に含まれる位置データが、広告提供者の位置を緯度と経度によって特定するものである請求

項 1 に記載の電子メールへの広告情報付加システム。

【請求項 6】 受信側端末機から電子メールの受信要求があったときまたは電子メールを宛先のメールサーバに送信するときに受信側端末機における電子メールの地域情報の表示形式を検出する表示形式検出手段と、

この表示形式検出手段によって受信側端末機における電子メールの地域情報の表示形式が送信側端末機から送信されてきた電子メールの地域情報の表示形式と異なっていることが検出された際に、受信側端末機に送信する電子メールの地域情報の表示形式をこの受信側端末機の表示形式に変換する表示形式変換手段と、

をさらに備えている請求項 1 に記載の電子メールへの広告情報付加システム。

【請求項 7】 送信側端末機から送信されてきた電子メールを保存し受信側端末機からの受信要求に基づいて保存していた電子メールを受信側端末機に送信し、または、送信されてきた電子メールを宛先のメールサーバに送信する電子メールサイトにおいて、

送信側端末機から送信されてきた電子メールに地域情報が含まれているか否かを検出し、

電子メールに地域情報が含まれていることが検出された際に、地域情報の表示範囲を示す位置情報が蓄積された位置情報データベースから電子メールに含まれている地域情報の位置情報を検索し、

広告データとその広告提供者の位置データを含む広告情報が蓄積された広告情報データベースから前記地域情報の表示範囲内に位置する広告情報を、その位置データと検索された前記地域情報の位置情報に基づいて検索して、

この検索された広告情報に含まれる広告データを電子メールに挿入する、

ことを特徴とする電子メールへの広告情報付加方法。

【請求項 8】 前記地域情報の表示範囲を緯度と経度によって特定する請求項 7 に記載の電子メールへの広告情報付加方法。

【請求項 9】 前記広告データの広告の提供者の位置を緯度と経度によって特定する請求項 7 に記載の電子メールへの広告情報付加方法。

【請求項 10】 送信側端末機から送信されてきた電子メールへの前記広告データの挿入を、その電子メールの保存前または宛先のメールサーバへの送信前

に行う請求項 7 に記載の電子メールへの広告情報付加方法。

【請求項 1 1】 受信側端末機から電子メールの受信要求があったときまたは電子メールを宛先のメールサーバに送信するときにこの受信側端末機における電子メールの地域情報の表示形式を検出し、

受信側端末機における電子メールの地域情報の表示形式が送信側端末機から送信されてきた電子メールの地域情報の表示形式と異なっていることが検出された際に、受信側端末機に送信する電子メールの地域情報の表示形式をこの受信側端末機の表示形式に変換する、

請求項 7 に記載の電子メールへの広告情報付加方法。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

この発明は、電子メールの交換の際にメールに広告情報を付加するためのシステムおよび方法に関する。

【0 0 0 2】

【発明が解決しようとする課題】

近年、インターネット等のコンピュータ・ネットワーク（以下、単にネットワークという）の拡充に伴って、情報伝達手段として、電子メールの利用が急速に普及してきている。

【0 0 0 3】

この電子メールとは、マイクロコンピュータ等の端末機同士がネットワークを介して文字や音声などの情報をメールの形で交換するシステムであり、送信側端末機から受信側端末機の宛先（メールアドレス）が指定されたメールがネットワークを介して送信されると、このメールはメール交換サーバに保存される。

【0 0 0 4】

そして、このメール交換サーバは、メールに指定されているメールアドレスを有する受信側端末機がネットワークを介してアクセスしてくると、その受信側端末機に、保存していたメールの送信を行う。

【0 0 0 5】

また、送信されてきた電子メールは、メール交換サーバに保存されずにそのまま宛先の受信側端末機のメールサーバに送信される場合もあり、受信側端末機は、このメールサーバにアクセスすることによって電子メールを受信する。

【 0 0 0 6 】

ここで、従来の電子メールは、受信側端末機にそのまま送信されるだけであるが、近年、この電子メールの広告媒体としての利用が検討されてきており、その際に、メールの受信者に対して利用価値の高い広告を提供することが出来るとともに、これによって広告提供者も高い広告効果を期待できるようにすることが要望されている。

【 0 0 0 7 】

この発明は、電子メールに対する上記のような要望を満たすために為されたものである。

すなわち、この発明は、電子メールが広告媒体として利用される際に、メールの受信者に対して利用価値の高い広告を提供することが出来るとともに、広告提供者も高い広告効果を期待できるようにすることを目的としている。

【 0 0 0 8 】

【課題を解決するための手段】

第 1 の発明による電子メールへの広告情報付加システムは、上記目的を達成するために、送信側端末機から送信されてきた電子メールを保存し受信側端末機からの受信要求に基づいて保存していた電子メールを受信側端末機に送信するメールサーバを含む電子メールサイトにおいて、送信側端末機から送信されてきた電子メールに地域情報が含まれているか否かを検出する地域情報検出手段と、電子メールに表示される地域情報の表示範囲を示す位置情報が蓄積された位置情報データベースと、広告データとその広告提供者の位置データを含む広告情報が蓄積された広告情報データベースと、前記地域情報検出手段によって電子メールに地域情報が含まれていることが検出された際にその地域情報の位置情報を前記位置情報データベースから検索するとともに、この検索された位置情報が示す地域情報の表示範囲内に位置する広告情報を前記広告情報データベースから蓄積されている広告情報の位置データに基づいて検索して、この検索された広告情報に含ま

れる広告データを電子メールに挿入する広告情報挿入手段とを備えていることを特徴としている。

【 0 0 0 9 】

この第 1 の発明による電子メールへの広告情報付加システムは、インターネット等のコンピュータネットワークを介して行われる電子メールの交換システムに適用されるものであって、電子メールの送受信を統括する電子メールサイトにおいて実現される。

【 0 0 1 0 】

すなわち、送信側端末機から送信されてきた電子メールを保存し受信側端末機からの受信要求に基づいてこの保存していた電子メールを受信側端末機に送信するか、または、送信されてきた電子メールを保存しないで受信側、すなわち、宛先のメールサイトに送信する電子メールサイトは、送信側端末機から電子メールがコンピュータネットワークを介して送信されて来ると、地域情報検出手段によってこの電子メールに地図や交通機関等のメール本文に関連するような地域情報が含まれているか否かを検出する。

【 0 0 1 1 】

そして、この地域情報検出手段によって電子メールに地域情報が含まれていることが検出された際には、広告情報挿入手段が、あらかじめ地域情報に含まれる地図などの表示範囲を特定する位置情報が蓄積された位置情報データベースから、電子メールに含まれている地域情報に対応する位置情報を検索する。

【 0 0 1 2 】

さらに、広告情報挿入手段は、広告情報データベースにあらかじめ蓄積されている広告情報のなかから、位置情報データベースから検索された位置情報に基づいてこの位置情報によって特定される地域情報の表示範囲内に含まれる位置データを有する広告情報を検索して、検索された広告情報に含まれるバナー広告等の広告データを電子メールに挿入する。

【 0 0 1 3 】

このようにして地域情報に対応する広告データが挿入された電子メールは、受信側端末機から受信要求があった時にこの受信側端末機の送信され、または、そ

のまま宛先のメールサーバに送信されて、受信側端末機においてメール本文や地図などの地域情報とともに表示される。

【 0 0 1 4 】

以上のように第 1 の発明によれば、電子メールの交換の際に、交換される電子メール内に地図などの地域情報が含まれている場合には、この地域情報に関連する広告情報が自動的に挿入されるので、電子メールの広告媒体としての利用が促進されるとともに、この電子メールを受信した受信者は、地域情報とともにその地域に関連する広告情報を入手出来るので、地域情報の活用の利便性が向上され、さらに、広告提供者にとっても、ユーザに対して利用価値の高い広告情報を提供することが出来るようになるので、高い広告効果を期待することが出来るようになる。

【 0 0 1 5 】

第 2 の発明による電子メールへの広告情報付加システムは、前記目的を達成するために、第 1 の構成に加えて、前記地域情報が地図または交通機関、住所の表示であることを特徴としている。

【 0 0 1 6 】

この第 2 の発明による電子メールへの広告情報付加システムによれば、電子メール内にメール本文に関連する地図や交通機関、住所等の表示があった場合に、その地図内に含まれる店舗等や交通機関の沿線に位置する店舗、または、住所に該当する店舗等に関する広告が、電子メール内に自動的に挿入される。

【 0 0 1 7 】

第 3 の発明による電子メールへの広告情報付加システムは、前記目的を達成するために、第 1 の構成に加えて、位置情報データベースに蓄積された位置情報が、地域情報の表示範囲を緯度と経度によって特定するものであり、位置情報データベースは、地域情報の表示範囲を緯度範囲と経度範囲をパラメータにして特定することにより、地域情報に対応する位置情報の蓄積を行っている。

【 0 0 1 8 】

第 4 の発明による電子メールへの広告情報付加システムは、前記目的を達成するために、第 1 の構成に加えて、前記広告情報データベースに蓄積された広告情

報に含まれる広告データが、バナー広告データであり、受信側端末機において受信者は、この電子メールに挿入されたバナー広告部分をクリックすることにより、このバナー広告に対応する広告内容をコンピュータネットワークを介して入手することが出来る。

【 0 0 1 9 】

第5の発明による電子メールへの広告情報付加システムは、前記目的を達成するために、第1の構成に加えて、前記広告情報データベースに蓄積された広告情報に含まれる位置データが、広告提供者の位置を緯度と経度によって特定するものであり、電子メールに挿入された地域情報の位置情報が地域情報の表示範囲を緯度範囲と経度範囲によって特定しているときに、この地域情報の表示範囲内に含まれる広告の広告データが、緯度と経度をパラメータにして検索される。

【 0 0 2 0 】

第6の発明による電子メールへの広告情報付加システムは、前記目的を達成するために、第1の構成に加えて、受信側端末機から電子メールの受信要求があったときまたは電子メールを宛先のメールサーバに送信するときにこの受信要求を行った受信側端末機における電子メールの地域情報の表示形式を検出する表示形式検出手段と、この表示形式検出手段によって受信側端末機における電子メールの地域情報の表示形式が送信側端末機から送信されてきた電子メールの地域情報の表示形式と異なっていることが検出された際に、受信側端末機に送信する電子メールの地域情報の表示形式をこの受信側端末機の表示形式に変換する表示形式変換手段とをさらに備えていることを特徴としている。

【 0 0 2 1 】

この第6の発明による電子メールへの広告情報付加システムは、広告データが挿入された電子メールを受信要求に基づいて受信側端末機に送信する際、または、保存しないで宛先のメールサーバに送信する際に、表示形式検出手段によって受信側端末機における電子メールの地域情報の表示形式の検出を行い、この表示形式検出手段によって受信側端末機における電子メールの地域情報の表示形式が送信する電子メールのものと異なっていることが検出されたときには、表示形式変換手段によって受信側端末機に送信する電子メールの地域情報の表示形式を受

信側端末機の表示形式に変換する。

【 0 0 2 2 】

したがって、この第 6 の発明によれば、受信側端末機において地域情報が確実に表示されるようになり、これに関連する広告の利用が促進されるようになる。

【 0 0 2 3 】

第 7 の発明による電子メールへの広告情報付加方法は、前記目的を達成するために、送信側端末機から送信されてきた電子メールを保存し受信側端末機からの受信要求に基づいて保存していた電子メールを受信側端末機に送信し、または、送信されてきた電子メールを宛先のメールサーバに送信する電子メールサイトにおいて、送信側端末機から送信されてきた電子メールに地域情報が含まれているか否かを検出し、電子メールに地域情報が含まれていることが検出された際に、地域情報の表示範囲を示す位置情報が蓄積された位置情報データベースから電子メールに含まれている地域情報の位置情報を検索し、広告データとその広告提供者の位置データを含む広告情報が蓄積された広告情報データベースから前記地域情報の表示範囲内に位置する広告情報を、その位置データと検索された前記地域情報の位置情報に基づいて検索して、この検索された広告情報に含まれる広告データを電子メールに挿入することを特徴としている。

【 0 0 2 4 】

第 7 の発明による電子メールへの広告情報付加方法によれば、交換される電子メールに地図などの地域情報が含まれている場合には、この地域情報に関連する広告情報が自動的に挿入されるので、電子メールの広告媒体としての利用が促進されるとともに、この電子メールを受信した受信者は、地域情報とともにその地域に関連する広告情報を入手出来るので、地域情報の活用の利便性が向上され、さらに、広告提供者にとっても、ユーザに対して利用価値の高い広告情報を提供することが出来るようになるので、高い広告効果を期待することが出来るようになる。

【 0 0 2 5 】

第 8 の発明による電子メールへの広告情報付加方法は、前記目的を達成するために、第 7 の構成に加えて、前記地域情報の表示範囲を緯度と経度によって特定

することを特徴としており、これによって、地域情報に関連する広告情報の検索を緯度と経度をパラメータとして行うことが出来るようになる。

【 0 0 2 6 】

第 9 の発明による電子メールへの広告情報付加方法は、前記目的を達成するために、第 7 の構成に加えて、前記広告データの広告の提供者の位置を緯度と経度によって特定することを特徴としており、これによって、地域情報の表示範囲が緯度と経度によって特定されている場合に、地域情報に関連する広告情報の検索を緯度と経度をパラメータとして行うことが出来るようになる。

【 0 0 2 7 】

第 1 0 の発明による電子メールへの広告情報付加方法は、前記目的を達成するために、第 7 の構成に加えて、送信側端末機から送信されてきた電子メールへの前記広告データの挿入をその電子メールの保存前または宛先のメールサーバへの送信前に行うことを特徴としており、これによって、受信側端末機から電子メールの受信要求があった時に、広告データが挿入された電子メールを受信側端末機に迅速に送信することが出来るようになる。

【 0 0 2 8 】

第 1 1 の発明による電子メールへの広告情報付加方法は、前記目的を達成するために、第 7 の構成に加えて、受信側端末機から電子メールの受信要求があったときまたは電子メールを宛先のメールサーバに送信するときにこの受信側端末機における電子メールの地域情報の表示形式を検出し、受信側端末機における電子メールの地域情報の表示形式が送信側端末機から送信されてきた電子メールの地域情報の表示形式と異なっていることが検出された際に、受信側端末機に送信する電子メールの地域情報の表示形式をこの受信側端末機の表示形式に変換することを特徴としており、これによって、受信側端末機において地域情報が確実に表示されるようになり、これに関連する広告の利用が促進されるようになる。

【 0 0 2 9 】

【発明の実施の形態】

以下、この発明の最も好適と思われる実施の形態について、図面を参照しながら詳細に説明を行う。

【 0 0 3 0 】

図 1 は、この発明による電子メールへの広告情報付加システムの実施形態の一例を示すシステム構成図である。

【 0 0 3 1 】

この図 1 において、情報検索機器であるマイクロコンピュータ等の端末機 T 1 は、それぞれ公衆電話回線網 N 1 に接続されており、この公衆電話回線網 N 1 はネットワークサービスプロバイダ (N S P) のアクセスサーバ A S を介してインターネット I に接続されている。

【 0 0 3 2 】

また、公衆電話回線網 N 1 には、この公衆電話回線網 N 1 に接続された移動体通信網 N 2 を介して、 P D A (Personal Digital Assistant) や電子メール機能を備えた携帯電話 (例えば、 i モード対応の携帯電話) 等の携帯端末機 T 2 が接続されるようになっている。

インターネット I には、電子メールサイト S 1 が接続されている。

【 0 0 3 3 】

この電子メールサイト S 1 は、送信側の端末機 T 1 または携帯端末機 T 2 からインターネット I を介して送信されてくる電子メールを送信先のメールアドレスとともに保存し、受信側の端末機 T 1 や携帯端末機 T 2 からの送信要求に応じて、保存していた電子メールをインターネット I を介して端末機 T 1 や携帯端末機 T 2 に送信するものであり、図 2 に示されるように、この電子メールサイト S 1 における電子メールの送受信動作を統括するメールサーバ S 1 a と、電子メールサイト S 1 に送信されてきた電子メールを送信先のメールアドレスとともに保存しておくメールデータベース S 1 b と、地図や交通機関の地域情報の表示範囲を緯度と経度によって示す位置情報が蓄積される位置情報データベース S 1 c と、広告内容とその広告提供者の位置 (すなわち店舗等の位置) を示す広告情報が蓄積される広告情報データベース S 1 d とを備えている。

【 0 0 3 4 】

なお、図 2 中、 S 2 は、地図や交通機関、住所等の地域情報の提供を行う W W W サーバを備えた地域情報提供サイトであり、 S 3 は、地図や交通機関などの情

報を含む地域情報が蓄積されている地域情報データベースサイトである。

【 0 0 3 5 】

図 3 は、上記電子メールサイト S の位置情報データベース S 1 c に記憶される位置情報の一例を示すものであって、この図 3 には、東京都大田区蒲田駅の周辺の地域に関する位置情報が階層順に示されている。

【 0 0 3 6 】

この図 3 において、「レベル」は位置情報の階層を示すものであって、高い階層（すなわち、レベル 1）から順に広い地域の位置情報が示されており、この位置情報は、各レベルにおける地域の範囲を緯度と経度により例えば北緯〇〇-〇〇度，東経〇〇-〇〇度というような態様によって表している。

【 0 0 3 7 】

図 4 は、電子メールサイト S 1 の広告情報データベース S 1 d に記憶される広告情報の一例を示すものであって、広告データと、その広告データによって広告したい店舗の位置や商品の販売地域（以下、広告提供者の位置という）を示す緯度および経度とが、対応して示されている。

【 0 0 3 8 】

次に、電子メールサイト S 1 のメールサーバ S 1 a における電子メールの送受信動作について、送受信される電子メールの態様を示す図 5 と、メールサーバ S 1 a における電子メールの送受信操作の手順を示す図 6 および 7 のフローチャートを参照しながら説明を行う。

【 0 0 3 9 】

図 5 に示されるように、電子メール M には、メール本文の記入欄 a とメール送信者が挿入した地域情報の表示欄 b とが含まれる。

【 0 0 4 0 】

この地域情報の表示欄 b には、電子メール M の送信者が電子辞書やインターネット I（図 1 参照）を介して地域情報提供サイト S 2 および地域情報データベースサイト S 3 等から入手した所望の地域の地図や交通機関，住所などの地域情報が表示される。

【 0 0 4 1 】

ここで、以下の説明においては、電子メールMの送信を行う端末機T 1または携帯端末機T 2（図 1 参照）において地域情報を表示する表示形式が、形式F 1（例えば、M a p F a n形式）であるとする。

【 0 0 4 2 】

図 6 は電子メールサイト S 1 における送信されてきた電子メールの保存の際の手順を示しており、この図 6 において、電子メールサイト S 1 のメールサーバ S 1 a は、端末機 T 1 または携帯端末機 T 2 から電子メール M の送信があったか否かの判断を行い（ステップ s 1 ）、電子メール M の送信があった場合には、次に、その電子メール M に表示欄 b に地域情報の表示があるか否かの判断を行う（ステップ s 2 ）。

【 0 0 4 3 】

メールサーバ S 1 a は、電子メール M の表示欄 b に地域情報の表示があった場合には、次に位置情報データベース S 1 c にアクセスして、図 3 に示されるような位置情報のデータの中から表示欄 b に表示された地域情報（例えば、蒲田の地図）に対応する位置情報（緯度および経度の範囲）の検索を行い、その検索した位置情報の読み出しを行う（ステップ s 3 ）。

【 0 0 4 4 】

さらに、メールサーバ S 1 a は、広告情報データベース S 1 d にアクセスして、図 4 に示されるような広告情報の中から、広告データに対応する位置（緯度と経度）が位置情報データベース S 1 c から読み出された位置情報が示す緯度と経度の範囲内に含まれる広告情報の検索を行い、この検索した広告情報の読み出しを行う（ステップ s 4 ）。

【 0 0 4 5 】

そして、メールサーバ S 1 a は、上記のようにして広告情報データベース S 1 d から読み出された広告情報が示す広告データを、後述するような電子メール M の広告欄にバナー広告として挿入し（ステップ s 5 ）、このバナー広告が挿入された電子メールを送信先のメールアドレスとともにメールデータベース S 1 b に保存する（ステップ s 6 ）。

【 0 0 4 6 】

図 7 は電子メールサイト S 1 から受信側端末機に電子メールを送信する際の手順を示している。

【 0 0 4 7 】

この図 7 において、メールサーバ S 1 a は、端末機 T 1 または携帯端末機 T 2 (図 1 参照) からの受信要求があるか否かの判断を行い (ステップ s 1 0)、受信要求があった場合には、メールデータベース S 1 b にアクセスして、受信要求を行っている端末機 T 1 または携帯端末機 T 2 のメールアドレスに対応する電子メールの読み出しを行う (ステップ s 1 1)。

【 0 0 4 8 】

さらに、メールサーバ S 1 a は、受信要求を行った端末機 T 1 または携帯端末機 T 2 において処理可能な地域情報の表示形式を検出し (ステップ s 1 2)、この検出した表示形式がメールデータベース S 1 b から読み出された電子メールの地域情報の表示形式 (ここでは、Map Fan 形式) F 1 と異なっているか否かの判断を行う (ステップ s 1 3)。

【 0 0 4 9 】

そして、メールサーバ S 1 a は、受信要求を行った端末機 T 1 または携帯端末機 T 2 における地域情報の表示形式がメールデータベース S 1 b から読み出した電子メールの表示形式と異なっていた場合には、あらかじめ表示形式データベースなどに蓄積されていた表示形式のデータに基づいて、電子メールの地域情報の表示形式 F 1 を受信要求を行った端末機 T 1 または携帯端末機 T 2 の表示形式 F 2 (例えば、マピオン形式) に変換して (ステップ s 1 4)、その電子メール M 1 を、受信要求を行った端末機 T 1 または携帯端末機 T 2 に送信する (ステップ s 1 5)。

【 0 0 5 0 】

また、地域情報の表示形式が互いに同じであった場合にはそのままの電子メール M 2 を、受信要求を行った端末機 T 1 または携帯端末機 T 2 に送信する (ステップ s 1 5)。

【 0 0 5 1 】

なお、上記の地域情報の表示形式の変換は、既知の種々の方式によって行うこ

とが出来る。

【 0 0 5 2 】

以上のようにして、受信要求を行った端末機 T 1 または携帯端末機 T 2 には、図 5 に示されるように、表示欄 b に表示された地図や交通機関、住所等の地域情報に関連する広告データが広告欄 c に挿入され、さらに、この表示欄 b に表示された地域情報の表示形式が受信要求を行った端末機 T 1 または携帯端末機 T 2 における地域情報の表示形式に適合された電子メール M 1 または M 2 が、電子メールサイト S 1 から送信される。

【 0 0 5 3 】

そして、上記のようにして地域情報に関連する広告データが挿入された電子メール M 1 または M 2 を受信した受信者は、地域情報とともにその地域に関連する広告データを入手出来るので、地域情報の活用の利便性が向上される。

【 0 0 5 4 】

また、広告提供者にとっても、ユーザに対して利用価値の高い広告情報を自動的に提供することが出来るようになるので、高い広告効果を期待することが出来るようになり、これによって電子メールの広告媒体としての利用が促進されるようになる。

【 0 0 5 5 】

なお、上記においては、電子メール M に広告データをバナー広告として挿入する例が示されているが、広告データをメールとは別ページにして受信側端末機の画面の全体に表示される形態で挿入したり、また、添付ファイルとして挿入するようにしても良い。

【 0 0 5 6 】

さらに、上記においては、電子メールサイト S 1 における電子メール M への広告データの挿入が電子メール M のメールデータベース S 1 b への保存の際に行われる例が示されており、これによって、受信側端末機が電子メールサイト S 1 にアクセスしてきた際に、電子メールサイト S 1 は、保存していた電子メール M を受信側端末機に迅速に送信することが出来るようになるが、この電子メール M への広告データの挿入は、受信側端末機への送信のために電子メール M がメールデ

ータベース S 1 b から読み出された際に行われるようにしても良い。

【 0 0 5 7 】

また、上記例においては、送信側端末機から送信されてきた電子メールがメールデータベース S 1 b に一旦保存される場合について説明を行ったが、電子メールをメールデータベース S 1 b において保存せずに、宛先のメースサーバに送信するような場合にも、同様の態様で広告データの挿入を行うことが出来る。

【 0 0 5 8 】

さらにまた、上記においては、地域情報の表示形式の変換が、電子メールサイト S 1 にアクセスしてきた受信側端末機における地域情報の表示形式を検出することによって行われる例が示されているが、送信側端末機において受信側端末機における表示形式を識別する情報を電子メール M に挿入しておき、電子メールサイト S 1 がこの電子メール M に挿入されている識別情報に基づいて地域情報の表示形式の変換を行うようにしても良い。

【 0 0 5 9 】

この場合には、電子メールサイト S 1 において、送信されてきた電子メール M を、その地域情報の表示形式を送信側端末機の表示形式に適合した形式にあらかじめ変換した状態でメールデータベース S 1 b に保存するようにすれば、受信側端末機が電子メールサイト S 1 にアクセスしてきた際に、電子メールサイト S 1 は、保存していた電子メール M を受信側端末機に迅速に送信することが出来るようになる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

この発明による広告情報付加システムの実施形態の一例を示すシステム構成図である。

【図 2】

同例における電子メールサイトのシステム構成図である。

【図 3】

同例における電子メールサイトの位置情報データベースに蓄積される位置情報の一例を示す説明図である。

【図 4】

同例における電子メールサイトの広告情報データベースに蓄積される広告情報の一例を示す説明図である。

【図 5】

同例において送受信される電子メールの形態の一例を示す説明図である。

【図 6】

同例における電子メールへの広告の挿入動作の一例を示すフローチャートである。

【図 7】

同例における地域情報の表示形式の変換動作の一例を示すフローチャートである。

【符号の説明】

S 1	…電子メールサイト
S 1 a	…メールサーバ（地域情報検索手段，広告情報挿入手段， 表示形式検出手段，表示形式変換手段）
S 1 b	…メールデータベース
S 1 c	…位置情報データベース
S 1 d	…広告情報データベース
M, M 1, M 2	…電子メール
a	…メール本文の記入欄
b	…地域情報の表示欄
c	…広告欄
T 1	…端末機
T 2	…携帯端末機
I	…インターネット
N 1	…公衆電話回線網
N 2	…移動体通信網
A S	…アクセスサーバ
S 2	…地域情報提供サイト

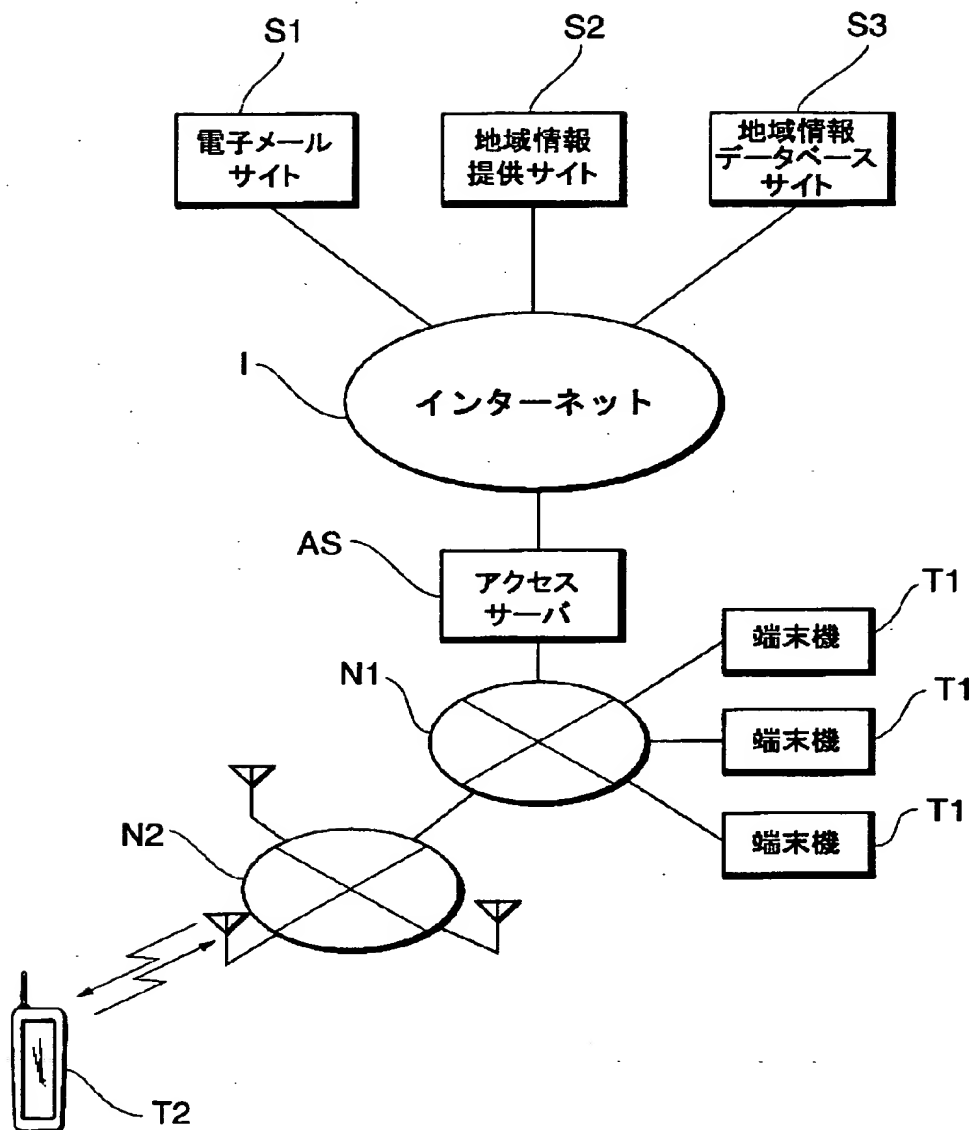
S 3

…地域情報データベースサイト

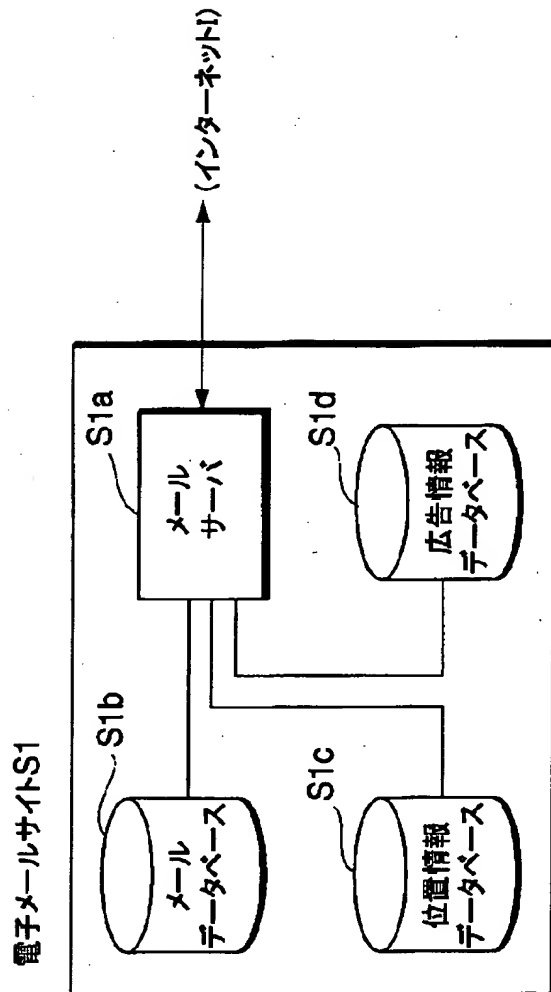
【書類名】

図面

【図 1】



【図 2】



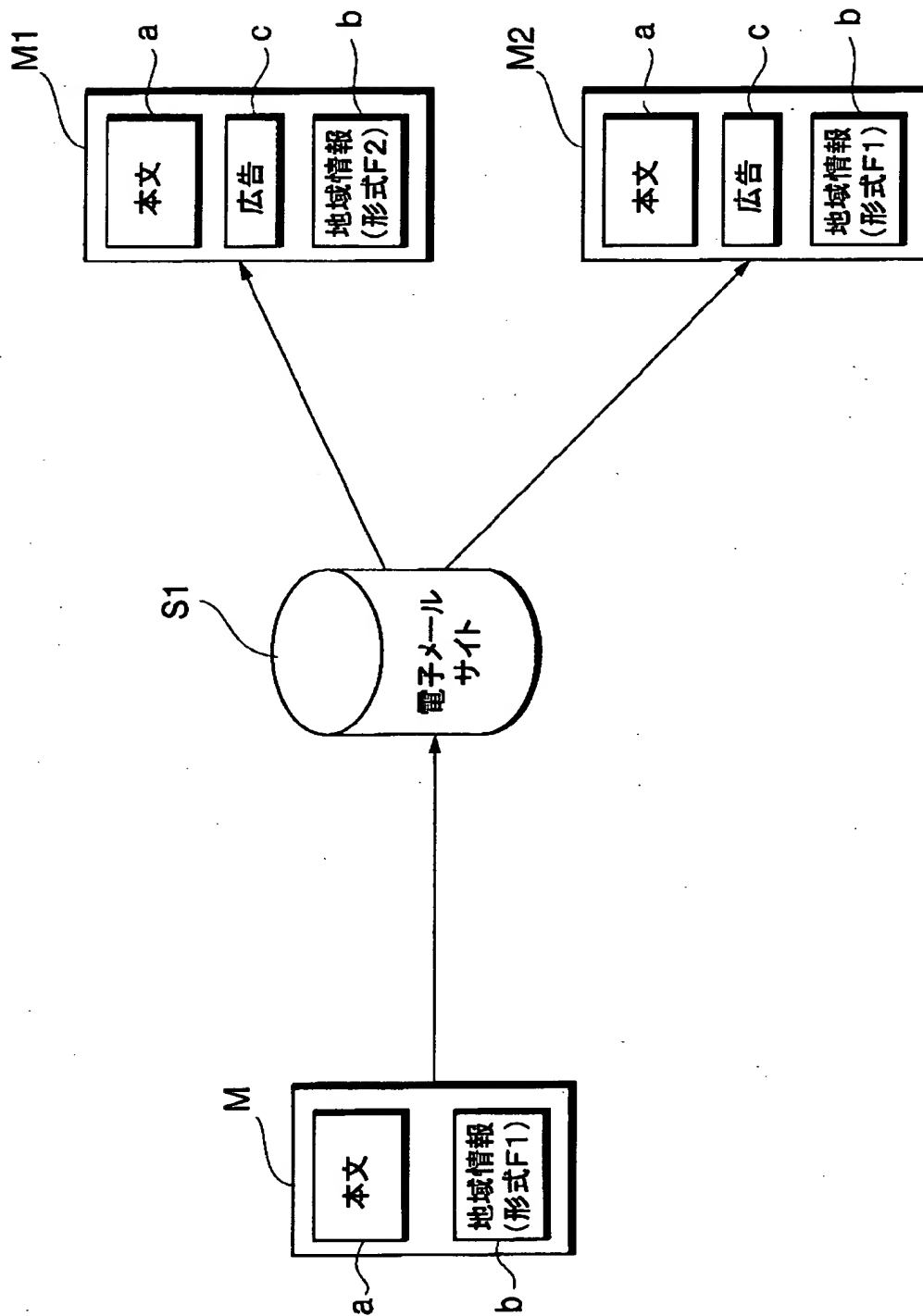
【図 3】

レベル	地域	位置情報
1	関東	北緯〇〇-〇〇度、東経〇〇-〇〇度
2	東京	北緯〇〇-〇〇度、東経〇〇-〇〇度
3	大田区	北緯〇〇-〇〇度、東経〇〇-〇〇度
4	蒲田	北緯〇〇-〇〇度、東経〇〇度から半径△km以内

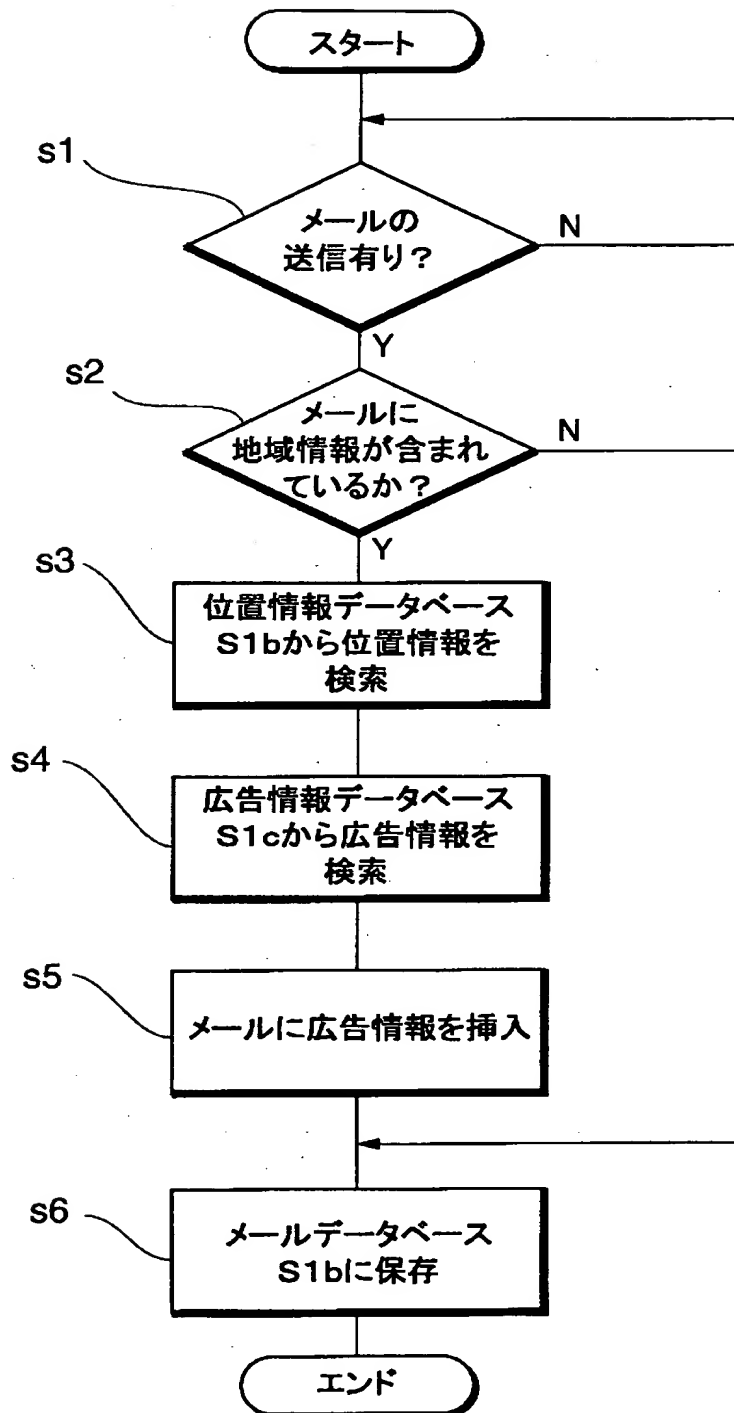
【図 4】

広告データ	位置データ
広告A	北緯〇〇度、東経〇〇度
広告B	北緯〇〇度、東経〇〇度
広告C	北緯〇〇度、東経〇〇度
広告D	北緯〇〇度、東経〇〇度

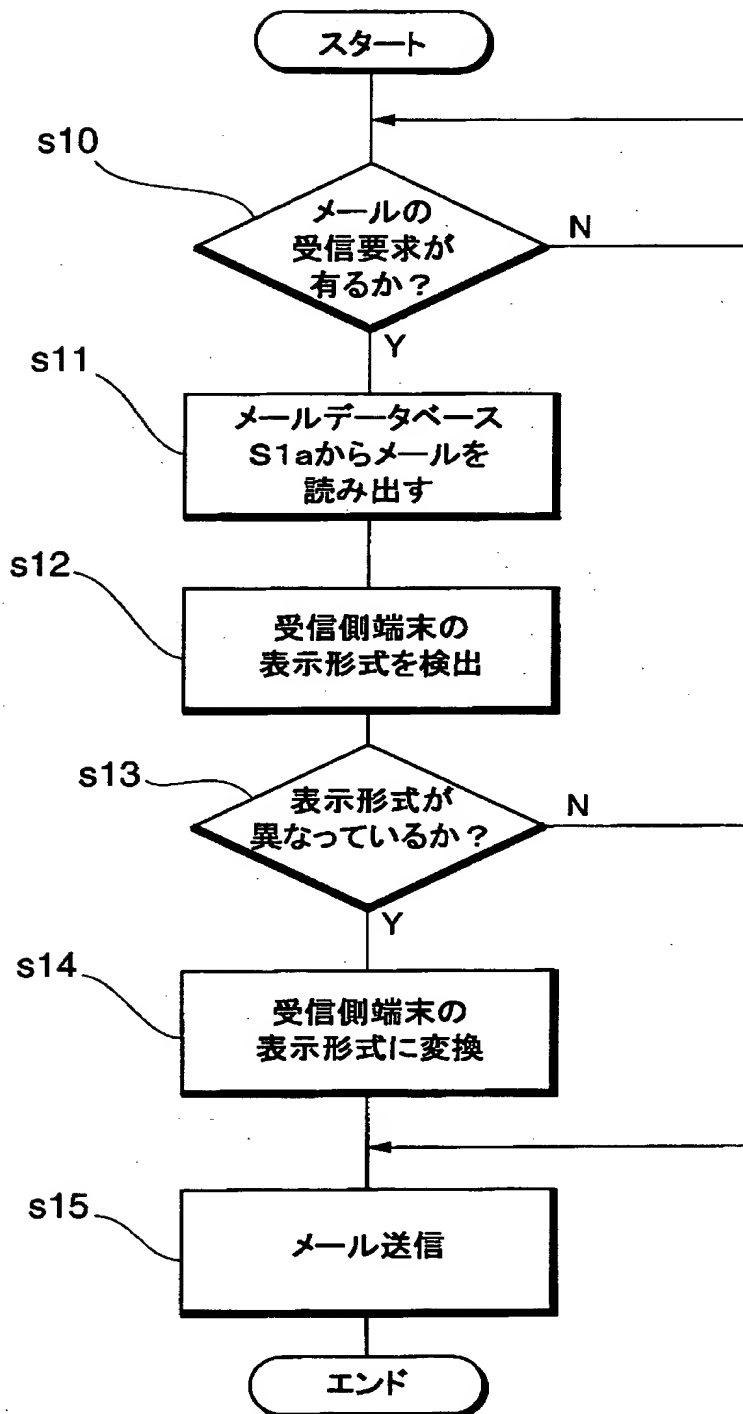
【図5】



【図 6】



【図 7】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 電子メールが広告媒体として利用される際に、メールの受信者に対して利用価値の高い広告を提供することが出来るとともに、広告提供者も高い広告効果を期待できるようにする。

【解決手段】 端末機 T 1 から送信されてきた電子メール M に地域情報 b が含まれているか否かを検出し、地域情報 b が含まれていることが検出された際に、地域情報の表示範囲を示す位置情報を検索し、この位置情報に基づいて地域情報の表示範囲内に位置する広告情報を検索して、この検索された広告情報に含まれる広告データ c を電子メール M に挿入する。

【選択図】 図 2

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005016]

1. 変更年月日 1990年 8月31日
[変更理由] 新規登録
住 所 東京都目黒区目黒1丁目4番1号
氏 名 パイオニア株式会社

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 (595105515)

1. 変更年月日 1995年 7月21日
[変更理由] 新規登録
住 所 東京都目黒区下目黒1丁目7番1号
氏 名 インクリメント・ピー株式会社